

**主題名 人類愛, つながる命 C-(18)国際理解, 国際貢献****教材名 「命のトランジットビザ」(あすを生きる 3年 日本文教出版)**

1 日時 令和2年10月19日(月)第5校時

2 ねらい

ユダヤ人を救おうとした杉原千畝の気持ちを考えることを通して, 国際的視野に立ち, 人類愛について理解を深め, 世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 主題観

本主題は, 「世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること」という C-(18) 国際理解, 国際貢献についての道徳的価値を担うものである。現代社会のキーワードに「グローバル化」がある。世界は急速に一体化し, 国際交流はますます深まっていくだろう。これからの社会を生きていく生徒にとって必要なことは, まさに「国際社会の一員としての自覚」と「世界の平和と人類の幸福に貢献できる能力」ではなかろうか。常に「公正・公平に接する」という態度を基本として, どの国籍・民族であっても同じ人間として尊重し合い, 世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心を養うことが大切であると考え, 本主題を設定した。

(2) 生徒観

情報化社会の現代, 世界中の戦争や紛争のニュースが報道されない日はない。ただ, アンケートで「ニュースや新聞, ネットなどで世界の諸情勢に目を向けている」85%, 「他の国々の文化や伝統, 歴史, 在り方や理想を知っている。」50%と, 国際問題に対する意識はあるが, 他の国の文化や伝統, 歴史, 在り方や理想, 違いを理解しているとは言い難い。また, 人類愛や, 国際貢献に何ができるかなど考える機会などが少ないので, 生徒の心を揺さぶり, 人類愛に関する考えを深められるようにしたい。

(3) 指導観

第二次世界大戦当時, 外交官としてリトアニアに赴任していた主人公・杉原千畝が, ユダヤ人を救うために, 外務省の命令に背いて, 日本通過のビザを発給する実話である。身の危険を冒してまでもユダヤ人を救おうと決心するまでの杉原の心の動きを追うことで, 人種を超えた「人間愛」について考えることができる。また, 外交官としての職責や家族の安全と, 人種を超えた命の大切さとの間で苦悩する杉原千畝の心の動きを通して, 多面的・多角的に深く考えさせることができる。

生徒は国際問題に対する知識に乏しいという状況がある。本時の導入では, 当時のヨーロッパの地図や領事館に集まるユダヤ人の写真を提示【視覚化】することで理解を深めていきたい。杉原の心の動き考えることでビザの発給が非常に困難なこと, ユダヤ人の命を救うことが国の方針に背くことや外交官の職を失う, 家族の安全も保証できないという状況を捉えさせたい。価値に迫れるよう, 全体発表で出た意見の中で国際的な視野の意見にラインを入れ【共有化】その中でビザを発給することにしたのか杉原の決断【焦点化】を考えさせることで, 人間の命の大切さを優先させ, 人種や民族を超えた人類愛であるということに気づかせたい。また, 意見を言いやすい雰囲気づくりの為にペアトークやグループを使っていく。



### 【価値にせまる生徒の姿】

ユダヤ人を救おうと決心した杉原千畝をとおして、世界の平和や人類の幸福を大切に思うことができている。

「たとえば、どこの国の人だろうと自分のできることをすることが大切だ。」

「どこの国の人だろうと、その人たちの為に自分のできることをしたいし、何ができるか考えていきたい。」

#### 4 人権教育との関わり

- ・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲。(価・態)

#### 5 本時の学習過程

	学習活動	主な発問 (○) 中心発問 (◎) 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点
導入 (4分)	1. 教材の時代背景について教師の説明をきく。	当時のヨーロッパの地図を提示しながら、時代背景や迫害の意味がわかるように説明する。	・当時のヨーロッパの写真や地図を貼る。【視覚化】
展開 (36分)	2. 教材「命のトランジットビザ」を読み、考える。	○天井を見つめ、深いため息をついた杉原は、どんな思いだったろうか。 ・何とかビザを発給し、ユダヤ人を助けたい。 ・日本はドイツと協力関係にある。国の利害を考えると外務省の許可を得るのは難しいだろう。 ・みんなの命を救うにはどうしたらいいだろう。  ○許可が出なくても諦めず二度目の電報を送る杉原には、どんな思いがあっただろう。 ・外交官として本国の命令に背くことはできない。職も失うだろうし、家族の安全もおびやかす。 ・何とか合法的にビザを発給したい。 ・外交官としてルールを守って命を助けたい。 ・少しの人だけではなく、他の多くのユダヤ人を助けたい。	・発言しやすい雰囲気をつくる為に、ペアトークを入れる。 ・外交官としての職務と人道的な立場との矛盾に苦悩する杉原の心情を理解させる。そのために、ビザの発給が難しい理由を考えさせるとともに、今ユダヤ人たちを救えるのは杉原しかいないことを押さえる。【視覚化】【焦点化】  ・すぐにビザを発給せず、二度目の電報を送ることから、外交官としての職責を果たしながらビザを発給したいという杉原の思いと、そのビザの発給が非常に困難という状況を分かるように、整理して板書する。【視覚化】【焦点化】

		<p>◎なぜ杉原はビザを発給することにしたのだろう。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの国の人の命も大切にすべきだ。</li> <li>・長い目で見れば、日本のためになるはずだ。</li> <li>・この判断は決して間違っていない。</li> <li>・自分たちの安全よりも、人としてすべての人を同じように愛そう</li> <li>・目の前の人の命を見捨てることができない。</li> </ul> <p>○杉原さんの生き方から、自分が学びたいことはなんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のことだけでなく世界にも関心をもっていきたい。</li> <li>・恥ずかしがらずに外国の人とも交流していきたい。</li> <li>・どこの国の人だろうと、その人たちの為に自分のできることをしたいし、何ができるか考えていきたい。</li> <li>・世界平和に貢献できる人になりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを深めさせる為に個人⇒グループで考えさせる。</li> <li>・補助発問で「ここに百人の外交官がいたとしても、ユダヤ人を助けようとは考えないだろうね。夫人に告げてビザを発給した、杉原が大切に考えていることは何だろう」。多くの不安があるなかで、人間の命の大切さを優先させた杉原の決断が、人種や民族を超えた人類愛であることに気づかせる。「たとえば、どこの国の人だろうと」というような本時の価値に迫る生徒の発言を机間指導でチェック、意図的指名をし、全体の場で皆に考えさせる。【共有化】【焦点化】</li> <li>・杉原のような行為は、自分たちには無理と考えるのが当然である。世界や人類のために、できること、大切にしたいこと、やっていることなどを考えさせたり振り返らせたりする。</li> </ul>
<p>終末 10分</p>	<p>3. 教師の説話を聞く。</p> <p>4. 感想を書く。</p>	<p>○今日の授業で学んだことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「参考情報」をもとに戦後の杉原について話し、杉原の示した人間尊重や人類愛の精神が、戦後世界の多くの人に認められたことに共感やあこがれをもたせ、余韻を残して学習を終える。</li> <li>・友達の見解や話し合いからの新しい発見や気づき、自分の考えを深めたこと、登場人物の気持ちになって考えたこと、これから大切にしたいことなどを意識させる。</li> </ul>

## 6 授業のUD化に関わる本時での工夫

### 焦点化

- ・外交官としての職責や家族の安全と、人種を超えた命の大切さとの間で苦悩する杉原千畝の心の動きをとおして、多面的・多角的に深く考えさせる。
- ・なぜ杉原は大量のビザを発給することにしたのか、特に考えさせたい場面に焦点化する。

### 視覚化

- ・当時のヨーロッパの地図や領事館に集まるユダヤ人たちの写真を提示しながら、時代背景や迫害の意味を押さえる。
- ・ビザを発給するうえで○良い面と●悪い面と構造的に分けることで、苦悩と葛藤の末に、発給するとの決断だったという内側の見えにくい部分を視覚化する。

### 共有化

- ・価値に迫れるよう、全体発表で出た意見の中で国際的な視野の意見にラインを入れる。
- ・話すことが苦手な生徒のために、ペアトークやグループトークを入れてから全体で共有化する流れを仕組む。

## 7 板書計画

命のトランジットビザ

ヨーロッパの地図

日本領事館前の写真

2度目の電報

杉原千畝の写真

ビザの発給

- 国の方針に背く
- 外交官の職を失う
- 家族の安全も保証できない
- ドイツに敵対するビザは認めない

深いため息

ユダヤ人を助けようとは考えないだろう。

百人の外交官がいたとしても、

☆「ビザを発給します。」

- ・不安はある。
- ・どこの国の人の命も大切。
- ・きつと日本のためになる。
- ・この判断は正しい。

○杉原さんの生き方から学びたいこと

- ・世界に関心を。
- ・世界の人の役に立ちたい。
- ・交流を盛んに
- ・世界平和に貢献できる人になりたい。